



第360号

発行
浄土真宗
心光寺
奥原曇龍
倉敷市早高426
☎(086)420-1311



いのち安らかに



カット：本多紘子

謹んで新春のお慶びを申し上げます。皆様、お元気ででしょうか。本年は昭和39年に引き続き、日本で2度目の東京オリンピックが開催されるのは楽しみです。選手たちは正々堂々と闘って欲しいな。

2020年東京五輪・パラリンピックの主会場である新国立競技場が昨年の11月30日に紆余曲折がありながらも完成しました。残念なのは、国際オリンピック委員会（IOC）のバッハ会長などの意向によって、マラソン会場が東京から札幌に変更になったことです。東京都と日本陸上競技連盟は急な変更にご迷惑でしたが、IOCは前回の10月開催と違って東京の8月は猛暑なので、選手の健康面で会場を札幌に変更せざるを得ないと弁明しました。それにしても真夏に五輪を開催することは、問題にして欲しかったです。またロシアの選手たちが、国を挙げてのドーピング不正をしたとの疑惑が晴れず、ロシア選手団としての参加が拒まれたのは、当然だが悲しいことです。

悲しいと言えば昨年の10月31日午前2時40分ころ、那覇市の首里城から出火し、玉座のあった正殿や北殿、南殿、番所などが全焼したことです。世界遺産「首里城跡」の上に復元されていた首里城の火災で全焼した正殿内の電気配線に複数のショート痕があることが判明し、

*心の悩み・信仰の相談は月曜日から木曜日の午前中に気楽にお電話下さい。

電気系統のトラブルから出火したようです。

首里城は明治新政府によって1879年に日本の政治体制に組み入れられるまでの450年間、琉球王国の政治と文化の中心でした。太平洋戦争の沖縄戦（1945年）で焼失したが、1986年に国が復元を決定し30年かけて全容を取り戻しました。沖縄文化の復興の象徴として沖縄県民の心の支えでもあったので、今回の全焼は深い悲しみにつつまれた沖縄です。首里城が復元されることを願うばかり…。

昨年に愚僧が感銘したのは、6月2日の『NHKスペシャル』の放送で、「多系統萎縮症」という神経の難病を患っていた51歳の小島ミナさんが、スイスに行つて安楽死をとげるというドキュメントが放映され、見ていた愚僧もかなり衝撃的で深く考えさせられました。

安楽死には消極的安楽死と積極的安楽死があります。前者は終末期にある患者に対して積極的な延命治療をしないというもので、後者は患者の意思が明確であり、苦痛が耐えがたく、回復の見込みのない、代替治療がない、といった幾つかの条件のもとで、医療従事者が患者に対して積極的な死を与えるというものです。

日本では積極的安楽死は法的に認められていません。世界的に見た場合、法的に容認しているのは、スイス、オランダ、アメリカのいくつかの州などわずかです。スイスには「ライフサークル」という自殺補助団体があり、この団体を通して、医師の指示と補助のもと、致死量の薬品によつて自殺することが出来るのです。小島さんもスイスでの積極的安楽死を選択し、スイスまで二人の姉と一緒にいきます。

徐々に身体機能を失っていた小島さんに回復の見込みはない。最後の選択は、まだ自分の意思が明確に伝達でき、スイスまで移動できるだけの身体機能が残っている間に安楽死を望んだのです。二人の姉も簡単には受け入れられなかったが何度も話し合った結果、妹の意思を尊重し、スイスで死の現場に立ち会います。点滴により、小島さん自身の意志で薬品を投与し安楽死をとげたのです。合掌（奥原曇龍）

『安楽死積極的もいいのかな 動けぬ前に安らかに逝く』 どんりゆう



カット：奥原 綾

ともしび説法

日時・十二月三十一日「火曜日」除夜の鐘・午後三時・鐘楼堂。
一月 一日「水曜日」午後一時から午後四時まで。
二月 十三日「木曜日」午後一時から午後四時まで。
場所・倉敷市早高426 新本堂 電話086-420-1311

ともしびを読みたい方、お寺についてもっと知りたい方 [心光寺 倉敷 検索](#)



お釈迦様ものがたり 39

お釈迦様の青春時代は、お城の王子として何不自由なく過ごされていたのに、実の母である摩耶夫人がお釈迦様を産んで一週間後に産後の肥立ちが悪く亡くなったので、物思いにふける静かな青年として育ちます。

小さな城の王子として生まれたことは、いつ大きな国に滅ぼされるかも知れないという恐怖があったのかも知れません。人生に対して苦しみ悩む問題を抱えながら、生きる意味や死に行く意味を深く考え、人間とは何か、人間らしく生きるということはどういうことを真剣に求めて、二十九歳のとき一人で城をこっそりと出、出家生活に入ります。

当時のインドでは、出家しなければ最高の理想は到達されず、在家生活では第二義的な世俗善の境地しか得られないとされていたから、お釈迦様も理想を目指し出家します。

仏教において、出家と在家の区別は、指導者と指導を受ける者との関係です。出家者は在家の人々に教えを説き、精神的に指導していく代わりに、出家者の衣食住などの経済生活は、すべて在家者によって支えられる。在家者は精神的な指導救済を、すべて出家者に依存する代わりに、出家者に対してその経済生活を保障するのです。つまり出家者は法(真理)を施し、在家者は財を施して、総合扶助により、社会の繁栄と平和を計るのです。

お釈迦様の理想は、社会全体が平和で幸福になることであり、仏教の出家者は無知で悩み多き在家信者の苦悩を解放するための指導者となつて欲しいと願われました。

この関係は医者と患者の関係に似ており、医者は自分のことより、民衆の健康と治病のために医学や医学を研究します。従って医学や医学は医者のためではなく、患者のためにあるのです。これと同じく、民衆の精神的病気を治療するのが出家者であり、悩める人を導くのが仏教僧侶です。合掌(奥原曇龍)

初日の出今年も感謝で荒波を 超えて生きてきたしともしびと共に 田辺多恵子



昨年の秋の報恩講法要にて

ともしび法話

明けまして南無阿彌陀仏
令和二年の元旦がやって来ました。皆様いかがお過ごしでしょうか。旧年中は門徒の皆様にお世話になりました。お寺を「心の雨宿り」にしたいと頑張っています。今年もお導き下さい。心光寺坊守(ぼうもり) 奥原 博子

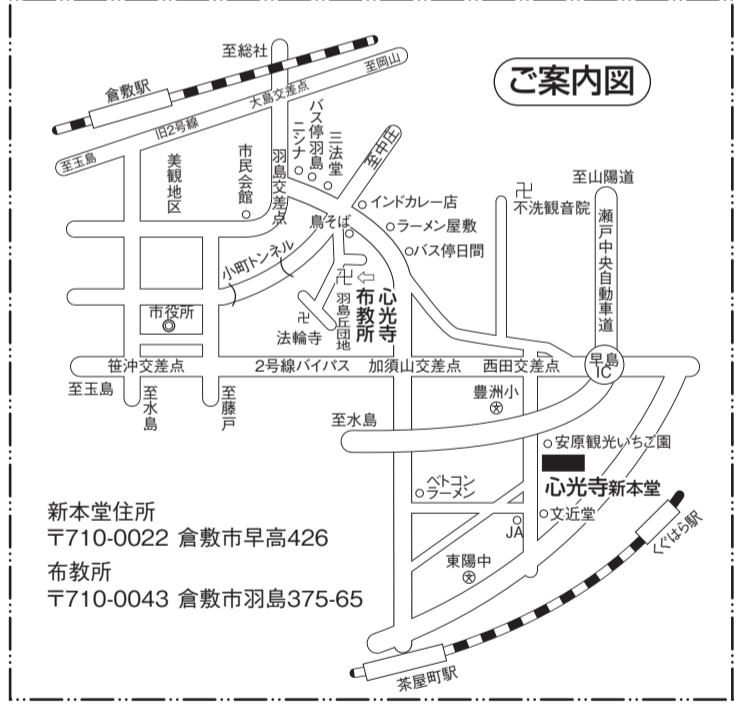
謹賀新年
昨年の十一月三日に心光寺の秋法要の催しで、ピアノ&サクソのソアラレさんの演奏を聞かせていただき有り難うございました。その時に自作の『フクロウ』の焼き物を皆様にもらっていただき、喜ばれたのを嬉しく思っています。
総社市中原 横田一二三

心光寺の御門徒に山口県出身の方が多く驚きました。毎月ともしび郵送のお手伝いも楽しく、今年も宜しく願います。
倉敷市亀島 磯永 充利
大晦日除夜の鐘で暮れていく 出逢いと別れともしびにつつまれ 山田 孝治

ともしび説法

日時・十二月三十一日「火曜日」除夜の鐘・午後三時・鐘楼堂。
一月 一日「水曜日」 午後一時から午後四時まで。
場所・倉敷市早高四二六 心光寺(しんこうじ) 本堂にて
電話・(086)420-1311 駐車場有り

○ともしび説法・お寺の行事予定
二月 十三日(木)・午後一時から午後四時・早高の本堂。
三月 十三日(金)・午後一時から午後四時・早高の本堂。
四月 十九日(日)・午前十時半から午後四時・早高の本堂。
☆ともしび会は、月額五百円の会費制です。(賛助会員募集中)。
ともしび新聞を毎月発行し続けていますが、たくさんの方の費用がかかります。賛助会員になって下さる方があれば嬉しく思います。会員には、ともしびを郵送させていただきます。(お電話下さい)



◎ともしび制作費に御寄付ありがとうございました。
倉敷市 左右田様 3千円
倉敷市 飯塚様 岡山市 津田様 早島町 平松様 4千円
尾道市 藤原様 1万円
菊川市 津田幸子様 山口県 久行美也子様 2万円

浄土真宗の宗祖は親鸞聖人(しんらんしようにん)です。お葬式の時にあわてて葬儀屋さんに紹介してもらいより、自分でお寺は決めよう。



カット:吉岡美枝

こころの詩

新しいまっさらな日が来たよ
やさしい光りにつまれて
生きていることに感謝し
ゆつくりゆつくり今年を歩もう
得難い二度とない人生だから
欲も見栄もすくなく
笑顔で過ごせたらいいな



〒710-0022 倉敷市早高426
浄土真宗(じょうどしんしゅう)心光寺
TEL(086)420-1311 FAX 420-1322
携帯電話 (090)-2297-2504

★『ともしび』の毎月発行も、お陰様で「360号」となりました。心光寺は、誰でも気軽に来られる「心の雨宿りのお寺」を目標に頑張っています。ともしび説法の日には茶屋町駅西口に12時35分に、お寺より自動車でお迎えに行きます。車の送迎が必要な方は心光寺まで、ご連絡下さい。 合掌 心光寺 総代長 三村健